

第 49 回関西広域連合委員会の概要（速報版）

平成 26 年 9 月 24 日
関西広域連合本部事務局

○日 時：平成 26 年 9 月 23 日（火） 16:00～17:00

○場 所：大阪府立国際会議場 12F 特別会議場

○出席者：井戸広域連合長、三日月委員、山田委員、植田副委員（大阪府）、熊谷副委員（徳島県）、塚本副委員（京都市）、狭間副委員（堺市）、鳥居副委員（神戸市）、和歌室長（和歌山県）、岡崎局長（鳥取県）、村上局長（大阪市）、連携団体（福井県、三重県、奈良県）

○議事概要

1 協議事項

① 「危険ドラッグ対策の充実強化」に係る国への提言について

- ・「危険ドラッグ」を原因とする健康被害や交通事故が続発している状況に鑑み、「危険ドラッグ」に起因するあらゆる危害から国民の生活・生命を守るため、「新たな視点に立った効果的な規制手法の確立」や「水際対策の強化」、「危険ドラッグ検査体制の充実」等、各種対策のさらなる充実強化を求め、関西広域連合として国に緊急提案していくことについて合意し、提案内容を一部修正した上で速やかに国へ提出することを確認した。

② 「危険ドラッグ」撲滅に向けた緊急アピールについて

- ・関西 2 千万府民・県民の皆様に「危険ドラッグ」撲滅に向けて、「府民・県民への協力の必要性」、「自身を買わない、使わない、売らないこと」、「危険ドラッグに関する情報の提供」等、関西広域連合として緊急アピールを行うことについて合意し、その場でアピールを行った。

③ 関西圏域の展望研究の実施について

- ・2050年頃を見据えた関西圏域の展望研究を行う「関西圏域の展望研究会」について、研究体制や今後のスケジュール等について確認するとともに、展望研究の方向性等について意見交換を行った。

④ 「まち・ひと・しごと創生本部」に対する提案について

- ・国においては、人口急減・超高齢化の中にあつて、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生できるよう「まち・ひと・しごと創生本部」が設置されたことから、関西広域連合としても、東京一極集中からの脱却や地域活力の再生など、同本部に対して積極的に提案していくことについて合意し、提案内容を一部修正した上で速やかに国へ提出することを確認した。

2 報告事項

① 「平成 26 年 8 月豪雨」災害に係る被害状況について

- ・関西各地に多大な被害を及ぼした「平成 26 年 8 月豪雨」について、被害状況等の報告があった。

② 京滋ドクターヘリの運航業務委託事業者の選定結果について

- ・平成 27 年度から運航を予定している京滋ドクターヘリについて、運航業務の委託にあたっては企画提案公募を行い、事業者を選定したことについて報告があった。なお、この件については、滋賀県議会から「委託事業者の選定について慎重な対応を求める意見書」が提出されていたことから、選定結果について同議会に対して連合長名の書面で報告することとなった。

③ 地方分権改革に関する提案募集への対応について

- ・ 関西広域連合が行った「地方分権改革に関する提案」について、所管府省からなされた第1次回答に反論する意見を9月12日に内閣府に提出したことについて報告があった。

④ 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会（第2回）の開催について

- ・ 琵琶湖・淀川流域が抱える様々な課題を整理し今後の取組の方向性等を検討する「琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会」の第2回研究会を9月29日に京都平安ホテルで開催することの報告があった。

⑤ 歴史文化遺産フォーラム『関西から見る日本の歴史と文化～世界遺産で知る日本の姿～』の開催について

- ・ 関西には姫路城や法隆寺をはじめとした世界遺産や歌舞伎、文楽などの世界無形遺産など、世界に誇るべき資源を有しており、関西から、新たな視線で日本史を見つめることで日本の姿を知り、新しい文化を生み出すことの意義を考えるフォーラムを11月13日に大阪YMCA国際文化センターホールで開催することの報告があった。

⑥ 「関西ワールドマスタースゲームズ2021の集い～大会成功に向けて～」の開催について

- ・ 2021年5月に関西において開催する「関西ワールドマスタースゲームズ2021」の開催気運の醸成を図るため、関係各界が一丸となって大会を盛り上げていく集いを10月7日に大阪府立国際会議場で開催することの報告があった。